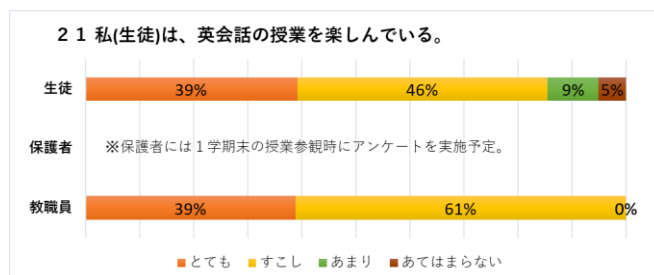


小国町立小国中学校 学校評価 [英会話科について]

1 自己評価

① 生徒は英会話科を楽しんでいますか。

- A とても楽しんでいる (39%)
- B すこし楽しんでいる (46%)
- C あまり楽しんでいない (9%)
- D 楽しんでいない (5%)



② 英会話科を行う上で生徒に変化はありましたか。

- A 生徒たちは以前より実際のコミュニケーションで積極的に使用できるようになり、自信を深めた。日常会話や発表の際に、より流暢に英語を話そうと努力する姿も見られた。また、授業で他文化のクイズを取り入れることで、生徒の海外に対する関心が以前よりも高まった。

③ 生徒が日常（授業以外）で英語を話しているところを見たことがありますか。

- A 休み時間は生徒同士や教員に話しかけたりする生徒、ALT と英語で積極的にコミュニケーションをとろうとする生徒が見られるようになった。部活動でも、リアクションなど英語を使う生徒が見られた。

④ 英会話科を行うことで先生自身に変化はありましたか。

- A 英会話科を行うことで、新たな指導法や教材の開発など大変勉強になっている。また昨年と同様に、英会話科で行う言語活動やゲームを参考にし、英語科の授業でも取り入れて活用している。

⑤ 英会話科の授業を行うことをどのように感じていますか。

- A 生徒たちの成長を目にすることができるため、英会話科の成果を感じている。生徒たちが自信を持って英語を話すようになり、リアルなコミュニケーション能力が向上する姿を見ることができるためやりがいを感じている。同時に、生徒たちとの対話を通じて、教材や指導法の工夫改善の必要性に気づくこともあり英会話科の授業の成果であると感じている。

⑥ ALT との打ち合わせについて

- A 授業毎に ALT と空き時間に打ち合わせを行い授業に臨んでいる。また、月に1回の頻度でパラカロ（ALT 所属会社）と授業内容等について話し合いを行い、改善している。その際、とても協力的で、こちらの意見を柔軟に受け入れ、対応いただいているので、大変助かっている。アイデアも豊富で勉強になっている。

⑦ 英会話科を実施する上で課題と感じていることは何ですか。

- A 各学年の英語の習熟度に合わせた授業の打ち合わせをしっかりと行う必要がある。生徒が、より主体的に話すような授業の工夫改善が必要である。

2 学校関係者評価（英会話科の授業を参観して）

○コロナ禍で授業参観が未実施